

わらべ

令和6年6月21日
富岡保育園



月日の経つのは早いもので、あっという間に新年度から3か月が経とうとしています。変化に一番敏感なりす組さんも大きくなり、変化を受け入れられる様になってきました。和氣が車椅子で部屋に入っても、泣く子どもさんがいなくなったのです。3歳以上児の年少・年中・年長の3クラスも、全員の子どもが意欲的に活動に参加しているのが見てとれます。今年度も順調に保育が滑り出しています。

その中で嬉しいことを2つ皆様にご報告致します。それは「3歳児の積み木」と「がんばりまめ」のことで、6月のある朝、出勤してきた職員が積み木で組まれた作品群を発見しました。前日の居残りでこれを組んでいたのは3歳児の子ども達であったことを思い出しく眺めてみた処、とても3歳児とは思えないほど複雑に組まれていたそうです。「3歳児でここまでできるのは凄いこと！これも昨年度まで保育を担当した未満児グループの『担当制の保育』で、信頼できる先生の見守りの中でじっくり一人遊びをしてきたからではないか」と感じ、すぐにその足で未満児さんのお部屋にゆき、未満児の先生方と喜びを分かち合ったそうです。

2つ目の「がんばりまめ」は年長・年中さんのことです。年中・年長は発表会の前後から鉄棒やのぼり棒に燃えています。暇さえあれば鉄棒やのぼり棒に取り組んでいるのです。今では手にまめができた子まででてきました。この豆は「がんばりまめ」というのだそうです。「夢中になって遊んだとき、何度も何度も挑戦して達成したとき、その後繰り返してその満足感を味わっているとき、夢中になる子どもの手のひらには『がんばりまめ』がうまれます・・・子ども達は、いやなことやつまらないことは決して繰り返して遊びません。『がんばりまめ』が育ったとき、子ども達の心と体は、逞しく成長しています」と、本に書いてありました。この2つの出来事が、私には色々な意味で嬉しくてたまりませんでした。

保護者学習会への参加ありがとうございました！！

5月30日に開催されました保護者学習会にご参加下さりありがとうございました。講師の辻川先生は、現在上天草市教育委員会の自立支援相談員としてご活躍の一方、教育機関の研修会、講演活動にも積極的に取り組んでいらっしゃいます。今回「『学校での勉強が楽しくなるために、今から何をしておけばいいの?』というテーマで年中・年長児の子育ての工夫をお話して下さいました。

- ① 「耳で聞く話ことば（音）」と「読み書きの言葉（文字）」と「言葉の内容（意味）」をつなげる力を育てるには！
- ② 文字を正しく書く力を育てるには！
- ③ 勉強の内容を「理解して覚えていく力」を育てるには！

この「③つの力」が「入学までに育っていなければ絶対困る。」という事ではなく、「その子らしさ」が育つ遊びを今日から始めることが大事なのです。と具体的に遊びを教して下さいました。

昨日学習会ありがとうございました。〇は家「しりとりをしよう」とよく私たちとやります。しりとりは良いと聞いて私たちも子どもの為に沢山一緒にしないでほしいです。子どもは気づかないうちに音韻が育つ遊びをしていたのだなあと感じました。とても勉強になりました。

保護者勉強会ありがとうございました。とてもためになる内容で早速家での遊びにも取り入れていきたいと思いました。勉強会の後も研修会お疲れ様でした。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

学校に行き始める前に聞いて良かったと思いました。逆さ言葉言わせてみると、言えると思っていたけどなかなか言えず、これは 教わったことをやって行けたらと思います。

昨日の講話お世話になりました。「音韻意識」大切なんだと。中学生でも出来ない子もいるのに本当びっくり。音韻意識が弱いと先々親も困るんですけど子もいちばん困るし、勉強の楽しさが分からずに引きこもりなどが多くなるという事実に責任持ちました。大切なのは、何かした後感想みたいに言わせたり、後はしりとり、ジャンケンゲーム、カルタとかのゲームで楽しませると吸収しやすくなるんだなあと。書かせることが今は重要ではない事に自分がしていたことはこどものレベルにはまだ早かったんだろうなと思いました。反省反省。

昨晩は、先生方もお仕事でお疲れの中勉強会を開催して頂き、ありがとうございました。初めて聞く話で驚きでした。先生方が子ども達にことば逆さ読みゲームをされていた意味が分かりました。ありがとうございました。これからもしりとりや（我が家でバナナサンドという番組の「頭お尻ゲーム」というのをよくやっています）ゲームで楽しく遊んで行こうと思っています。これからもまたご教示ください。

昨日はお疲れ様でした。辻川先生の講演会はこれから年長さんまで、子どもにどうかかわって行けばいいのか...という所でのお話は、とってもいい内容でした。「耳で聞く話し言葉（音）」「読み書きの言葉（文字）」「言葉の内容（意味）」をつなげる力をさ立てるには）音韻意識が育っている事...でつなぐことができるので、今から言葉遊びや昔のようにジャンケンで進むなど親子で楽しみながら一緒に入学までに準備をしていきたいと思ひます。子どもが小学校に入ってから勉強について行けて楽しい学校生活になるようにつまずいて前に進めなくなるのを防げるようにして行きたいですね。絵本で想像力を身に付けて世界を広げてあげたいです。

心春ちゃん げんきだったよ！！

令和2年から5年まで富岡保育園に通って来てくれた青柳心春ちゃんの近況を学童の子どもたちから聞くことができました。

心春ちゃんは重度の障害がありましたが、普通の保育園で同じように過ごさせたいというご両親の熱い思いと、保育園探しの中で「誰も助けてくれる人がいない」と、孤独に打ちのめされそうになっているおかあさんの心をこれ以上裏切りたくない」という思いと、今の富保の保育なら心春ちゃんと一緒に過ごすことは他の園児の育ちにとってもきっと意味のあることになるということを確認し受け入れました。看護師のお母さんと専任の松田智子先生に見守られて3年間園児とともに園生活を過ごしてきました。

茶北町では4年生になると支援学校との交流会が年に3回あり、今年も学童さんの3、4年生が「先生心春ちゃんに会ってくるね」と楽しみに出掛けました。それだけ子ども達が心春ちゃんのことを心にかけているのはやっぱり3年間一緒に過ごしてきたからだろうと思います。

志岐小学校の時は、残念ながら心春ちゃんは体調不良でお休みだったそうですが、都呂々小と富岡小学校の時は一緒に交流できたそうです。その時の感想を都呂々小の倉本君と田山さんが書いてくれたのををご紹介します。

しえん学校に行ってきました。いっしょにポッチャたい会をやったり、スイミーをさがしたりしました。黒いスイミーをさがすのにくせんしたけど見つけられたのでよかったです。こはるちゃんはあいさつが上手です。「何番目がいいですか?」としえん学校の先生が言うと、こはるちゃんは足を上げて「はい」と言います。本当に上手です。ポッチャ大会で、さっき言った「何番目がいいですか」と聞いて一番目の時に足を上げました。さいしょはしっぱいしたけど次やる時は、2の時とか1の時にもなります。1回目はよかったですけど2回目のしあいは負けただけどどう店だったので良かったです。でもこはるちゃんはすこしなきました。でもどうてんだったのでよかったです。

都呂々小 3年 倉本 賢生

しえん学校に行きミニゲームをしたよ。スイミーさがし、ポッチャをしたよ。こはるちゃんチームだったからねがいがなきました。よかったです。ワクワクしながら遊びました。たのしかったです。こはるちゃんは返事が上手。返事は足や手でやる。ポッチャはこはるちゃんの足にボールをおいて、こはるちゃんが足を上げて点数のところころがったら2点だった。次に先生が「一番がいい人?」と言ったら足を上げてへんじをしていました。私がなげたボールは0点だったけど、こはるちゃんが「だいじょうぶ」と手であらわしてくれました。でもポッチャは負けだったのでこはるちゃんは泣いていました。スイミーさがしは、こはるちゃんが乗っている車いすを私たちが押して取りました。とったあとはこはるちゃんのひざにのせました。こはるちゃんうれしがっていました。こはるちゃんの妹にもまた会いたいです。 都呂々小4年 田山 るり

植田さん ジャガイモほりあいがとうございました！

今年も3丁目の植田工務店様のご厚意で園児たちにジャガイモ堀り体験をさせていただきました。

畑に着くなり「どこにあると？」「いっぱいほろう！」とやる気満々の子どもたちです。雨上がりで土が固まっていた砂場用のスコップでジャガイモまでたどり着くのは困難でしたが、土の中からジャガイモが見えたときの喜びようはありません。「あった!!」「せんせいみてみて!!」と声が上がりました。次々に出てくるジャガイモに「何人家族かな？」「これあかちゃん」と愛おしそうに手の平に乗せて喜んでいました。各御家庭におすそ分けすることはできませんが、ご苦労されて育ててくださった植田さんに感謝して、給食や子どもたちのクッキングに使わせていただきます。ありがとうございました。



育児情報

Q 絵本の読み聞かせは何歳まで続ければいいですか？ 母の友編集部 6月号より 福音館書店

A タイミングはそれぞれと思いますが、成長とともにひらがなやカタカナを学んで読めるようになる子が出てきます。「うちの子はひらがなを覚えて一人で絵本を読めるようになったから、絵本の読み聞かせはもうしなくてもいいのでは？」とか、「ひらがなを読む練習にもなるから、自分で読ませようかな」という話を聞くことがあります。

児童文学者の松居直は、「絵本はこどもに読ませる本ではなく、大人がこどもに読んであげる本」と言っています。すばらしい絵と素晴らしいことばが詰まった絵本を、大好きな親や身近な大人の声で読んでもらう事で、心を通わせ合いながら楽しい経験をする豊かな時間となるのです。

まだ字を読めない小さな子どもと絵本を読んでいると気づきますが、ビックリするほど細かい所まで子どもは絵を見ています。大人が読むお話を耳で聞きながら、絵を隅々まで見ていて、文で書かれていない事も絵からすくいあげて楽しんでいるのです。「そんなことよく気付いたね！」と大人がビックリするような文脈を、絵から感じています。

ですから、子どもに断られない限りは絵本を読んであげてください。子どもが大人になって絵本の内容を忘れてしまったとしても、読んでもらっていた時の声や雰囲気、感じた気持ちなどが温かい思い出となって残ります。疲れて本を読みながら寝落ちする時もあるかもしれませんが、振り返るとあっという間のほんのひと時なので、聞いてくれる今を楽しんでください。子どもが自分で読みたがるようでしたら、反対に読み聞かせてもらうのもいいかもしれませんね。

6・7月の行事予定

6月26日(水) 弁当の日

シート・おしぼりもおねがいします。

6月29日(土) 午後 職員研修「救急法」

申し訳ありませんが午後の家庭保育にご協力ください。

7月

7月2日(火) 17日(水) リトミック

7月4日(木) 高齢者大学とのふれあい交流会「七夕会」

7月10日(水) 安田式運動遊び教室

7月12・13日(金・土) 年長児サマーキャンプ

7月16日(火) 第2回サッカー教室 年中・年長児

7月23日(火) スイミング(12日振替分)

8月

8月13日から15日 お盆希望保育

尾越の稲尾さんよりきれいなお花をいただき、仏様や玄関・事務室などに飾らせていただきました。「先生、これなんの花？綺麗ね」と子ども達も喜んでます。お孫さんが卒園されてもお花を届けてくださることに感謝でいっぱいです。

